

【 趣 旨 】

桐生市では、平成２７年３月に『桐生市環境先進都市将来構想』（以下、『将来構想』）を策定し、「みんなでつくる持続可能で快適な幸せ感じる環境都市」を将来像に掲げ、産学官民が一体となって様々な環境施策に取り組んでいます。

なかでも、桐生市内にある大学、企業、行政の英知と技術を結集して開発された低速電動コミュニティバス『ＭＡＹＵ（まゆ）』は、『将来構想』の実現に向けた施策の推進力となり、市民からも大変親しまれています。また、環境に配慮したスローモビリティとして日本国内のみならず、世界を舞台に活躍しているところ です。

現在、世界各国において、平成２８年に発効されたパリ協定を踏まえた地球温暖化防止対策が実施されています。また、新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い、未曾有の危機に直面しており、これまでのライフスタイルを見直すことが求められています。

こうしたことから、桐生市では、スローモビリティなどを活用した環境にやさしいライフスタイルや、スローライフを心掛けるまちづくりを推進し、本市が抱える地域課題の解決をはじめ、ゆっくりした時間の中で人と人がふれあう機会の創出、地球温暖化の防止、持続可能な未来社会を実現するため、『ゆっくりズムのまち桐生』を宣言するものです。